



通院治療センター のご案内

TOYOTA
KOSEI
HOSPITAL





❖ はじめに

通院治療センターでは化学療法を受けながら、副作用に対する支援を個別にさせていただき、患者さんが通常の生活、仕事を続け、家族と共に過ごす時間を大切にしながら通院での治療に専念できるよう支援させていただいております。

❖ 通院治療センターについて

外来で通院しながら抗腫瘍効果のある薬剤、リウマチ疾患、皮膚疾患、大腸疾患に対し抗体製剤を投与する部屋です。

設置場所 18番

開設時間

月曜日～金曜日 8時～17時

第1・3土曜日 8時30分～12時20分

上記以外の土曜日、日曜日、祝日、8月15日、
年末年始は閉鎖しています。

通院治療センター



❖ アメニティー

- *通院治療センターにはベッド13床、リクライニングチェア7床の合計20床を設置しております。治療時間、患者さんの状態により、ベッド、リクライニングチェアの使用を決めております。ご希望がある場合は遠慮なくご相談ください。
- *テレビは無料で視聴できるようになっております。
- *トイレは3か所設置しております。オストメイトの方、車いす使用の方が使用できるトイレも併設しております。
- *外気の変化や、体温の変化に対応できるよう、ブランケット、タオルケット等も準備しております。希望のある場合はお申し付けください。



❖ スタッフ

薬剤師、看護師（がん化学療法看護認定看護師1名含む）が常駐しております。
ご質問がございましたら、お気軽にご相談ください。
通院治療センターでは当番医制をとっており、緊急時は主治医・当番医が対応いたします。

❖ 治療当日の流れ

午前治療の方

8:00~8:30 に通院治療センターへお越しください

18 通院治療センター受付にて採血を行います

午後治療の方

11:00 頃にお越しください。
再来受付機にて受付をお願いします

10 中央採血室にて受付・採血を行います



再来受付機

通院治療センター

- 診察券、受付票を提示いただき、お名前の確認させていただきます
- 体温・血圧・体重の測定、問診を行います（家庭での様子や副作用の状況などを確認させていただきます。その際、気がかりなこと等ございましたら、ご相談ください）

午前の方は、診察の前に再来受付機にて受付をお願いします



再来受付機

各診療科にて診察

- 血液検査の結果が出てから診察になります
- 結果が出るまでに30分~1時間程かかりますので、結果が出る頃までには診察室前でお待ちください
- 主治医の診察を受けていただきます
- 体調や検査結果で治療をするかどうかを判断します

通院治療センターにて治療開始

点滴中は、通院治療センター室内にてお過ごしいただくようお願いいたします

- 点滴中はリラックスしてお過ごしください
- 薬液が漏れないよう、腕を激しく動かさないでください
- 点滴中気分がすぐれない、点滴の刺入部に痛み・違和感がある、その他気になることがございましたら、すぐにスタッフにお知らせください

中止・延期

会計

5 計算受付へ受付票・案内票の入ったクリアファイルを提出してください

会計表示板に会計の番号が表示されましたら、

7 自動支払機または **7** 会計にてお支払ください



自動支払機

当日の持ち物

- *テレビ用イヤホン
- *自己管理表（オリエンテーション時または、初回時にお渡しします）
- *内服薬・昼食・飲み物等（必要な方）



がん相談支援センター

医療費に関する相談、セカンドオピニオンに関する相談、在宅ケアに関する相談などは、「がん相談支援センター」をご利用ください。

病院にかかったときの医療費について

▶ 高額療養費制度

医療機関で1ヶ月にかかった医療費が、あらかじめ決められている自己負担限度額を超えた場合に払い戻しを受けることができる制度です。一般的に、入院で利用されることが多い制度ですが、条件を満たせば外来でもご利用できます。

▶ 限度額適用認定証

払い戻しを受けるのではなく、自己負担限度額（窓口で必ず支払わなければならない金額）まで、請求金額を抑えるという仕組みです。加入されている医療保険へ申請手続きが必要となります。

その他、加入されている医療保険によっては、傷病手当金などの、所得を保障するための制度が活用できる場合があります。

※加入されている医療保険や年齢、収入などによって手続き方法が異なります。

詳しくは、「がん相談支援センター」へご相談ください。



がんサロン “煌(きらめき)”

がん患者さん、およびそのご家族を対象とした講演や自由交流などを行っています。詳細は各ブロック待合のインフォメーションモニター、ポスター、ホームページをご覧ください。

- 参加費 無料
- 開催時間 第3土曜日 9:30～11:30
- 場所 多目的室



❖ 副作用対策

吐き気・嘔吐

点滴治療をして1週間程度吐き気、嘔吐の症状が出現することがあります。吐き気を緩和する薬剤が処方されるので、医師・薬剤師・看護師の説明通りに吐き気止めの内服をするようにしましょう。

食事・生活の工夫点

- 食べたい時に食べたい物を摂るようにして、消化の良い食品を摂るようにしましょう
- 油の多い食事、香りの強いもの、熱すぎるもの、冷たすぎるものは避けるようにしましょう
- 食事が摂れない時は無理して食べず、水分だけでも摂るようにしましょう
- 食後はゆっくりくつろぎ、食後すぐに仰向けに寝ないようにしましょう
- 身体を締め付けるような衣服は避けましょう



嘔吐が続き内服薬や水分も摂れない場合は、医療者に相談または受診するようにしましょう

下痢

下痢は、化学療法薬を投与した当日に起こる早発性の下痢と、治療後数日から2週間頃までに起こる遅発性の下痢があります。使用する薬剤・下剤の内服・感染性腸炎の発症など、原因は様々です。

食事・生活の工夫点

- 消化の良い物を少しずつ摂るようにしましょう
- 下痢により体内の水分が失われてしまうため、水分を十分に摂るようにしましょう。水分を摂ることで下痢が悪化することはありません
- 油の多い食品、食物繊維の多いもの、牛乳等の乳製品、刺激物は避けるようにしましょう



下痢の症状が改善せず1日に6回以上の下痢が継続する場合は、医療者に相談または受診するようにしましょう

便秘

抗がん剤や吐き気止めの副作用により、腸の運動が緩慢になり便秘が起こる場合があります。また食欲の低下、水分摂取量の低下、倦怠感などで活動量が低下しても、腸の動きが緩慢になることもあります。便秘が長期間になると腸閉塞を起こしてしまうこともあります。そうなる前に緩下剤、下剤の内服が必要な場合があります。医師・薬剤師・看護師の説明を受け、薬剤で調整を行うことも必要です。

食事・生活の工夫点

- 水分を1日1～1.5ℓ程度摂るようにしましょう
- 散歩、買い物など軽い運動をするように心がけましょう
- 緩下剤は食後に内服し、下剤は就寝前に内服するようにしましょう。便が緩くなる場合は内服回数を調節しましょう



便秘に伴う苦痛な症状がある場合は、医療者に相談または受診するようにしましょう

骨髄抑制

化学療法を継続して受けていると、慢性的に骨髄の機能が低下している状態になるため、常に感染しやすい状態になります。

点滴治療後5日～14日前後に、血液中の白血球、好中球、血小板が基準値より大幅に減少してしまうことがあります。また、白血球・好中球の減少により発熱することもあります。

治療中は以下のことに注意するようにしましょう

- 外出時はマスクを装着し、帰宅後は手洗い・うがいを心がけましょう
- 食事摂取前にも手洗いを行いましょ
- 口腔内を清潔に保つようにしましょう。少なくとも朝・夕に口腔ケアを行いましょ
- 生物の摂取については、治療内容によって制限内容が異なるため、医療者に相談してください



38℃以上の発熱が1時間以上継続する場合は、医療者に相談または受診するようにしてください

血小板が低下している時は、皮膚や口腔内へ強い刺激を与えないようにし、打撲や転倒に注意してください。

ペットと一緒に生活している方

- 寝床はできるだけ分けるようにしましょ
- 触れ合った後は手洗い、うがいをするようにしましょ
- ペットも予防接種を受けるようにしましょ
- 鳥かごの清掃はマスク・手袋を使用するか、家族の方が掃除をするようにしましょ

脱毛

脱毛リスクの高い薬剤の治療を受けた場合、治療後2～3週間から脱毛が始まります。治療が始まる前にウィッグを購入しておくことをおすすめします。治療中は頭皮も薬剤によりダメージを受けており敏感な状態です。毛染めやパーマをほどこしたい場合は、医療者にご相談ください。

脱毛前のケア

- ロングヘアで脱毛を迎えると、洗髪後や脱毛が激しい時期に、毛髪が毛玉になり処理が煩雑になります。ロングヘアの方は一旦ミディアムかショートカットにすることを勧めます。丸刈りは、毛髪が衣服に刺さることがあり、処理がかえって大変なため、丸刈りにしないようにしましょ

脱毛時

- 入浴前にブラッシングを行い、脱毛している毛髪を除去していきます
- シャンプーは皮膚に低刺激【弱酸性】の物を使用するようにしましょ
- 頭皮は皮脂が多いため、入浴時、毎日シャンプーで頭皮も洗浄し、入浴後、ドライヤーで頭皮を乾燥するようにしましょ
- 就寝時、頭部から体温が奪われて冷えを感じます。冬季は帽子を着用して就寝することをお勧めします

頭髪は、治療が終了するとまた生えてきますが、元の状態まで回復するには2年ほどかかります。頭髪のケア、ウィッグの購入でご不明な点は、医療者にお尋ねください。

血管外への薬液の漏出

化学療法薬は、血管への刺激が強い薬剤であり、細胞へ障害を与える作用がある薬剤のため、血管外へ漏れてしまうと、重大な皮膚障害を起こす可能性があります。投与中、看護師にて観察させていただきますが、患者さん自身の自覚症状も早期発見には有効です。投与中に以下の症状を自覚する場合は、直ちに看護師にお知らせください。

- 点滴挿入部位が腫れたように感じる
- 点滴挿入部位周辺の焼けるような痛み、しびれ、発赤の出現
- 血液が逆流している



治療終了後から数日後でも、点滴挿入部位やその周辺に痛みや発赤、腫れ、かゆみなどが出現した場合は、通院治療センターへ連絡してください

化学療法薬治療中の曝露予防

使用している化学療法薬は取り扱いによっては周囲の方の健康にも影響を与える可能性があるため、日常生活において少し工夫が必要になります。

- 男性は座って排尿するようにしましょう
- トイレ使用後はふたをして洗浄しましょう
洗浄は水量・水圧が十分であれば1回の洗浄でかまいません
- トイレ掃除は手袋を着用しましょう
- 洗濯は特別な取扱いの必要はありません
便や尿、吐物などで汚れた場合は、他の洗濯物とは分けて、2度洗いをしましょう
- 経口抗がん剤は自分で内服するようにし、水で溶かしたり、カプセルを開けるなどしないようにしましょう
家族が内服を介助する場合は、薬に直接触れないように手袋を着用しましょう

緊急連絡先

豊田厚生病院

電話 0565-43-5000

平日 8:30 ~ 17:00 通院治療センター

(その他の時間帯) 救命救急センター



電話連絡の際は、
「氏名・診察券番号・外来化学療法による治療中であること」
を必ずお伝えください

交通のご案内

お車・タクシーでご来院の方

駐車場

【総台数】

1,704台(身障者専用30台含む)

【ご利用料金】

1時間あたり100円(1時間以内は無料)

1日あたり(0時起点)800円

※外来受診の方は無料になります

送迎場所・タクシー乗り場

正面出入口前ロータリーをご利用ください

公共交通機関でご来院の方

平針駅から地下鉄鶴舞線
(名鉄豊田線)で15分

名鉄浄水駅と地下道で直結

天候に関係なく駅から院内へ

出入口の開閉時間

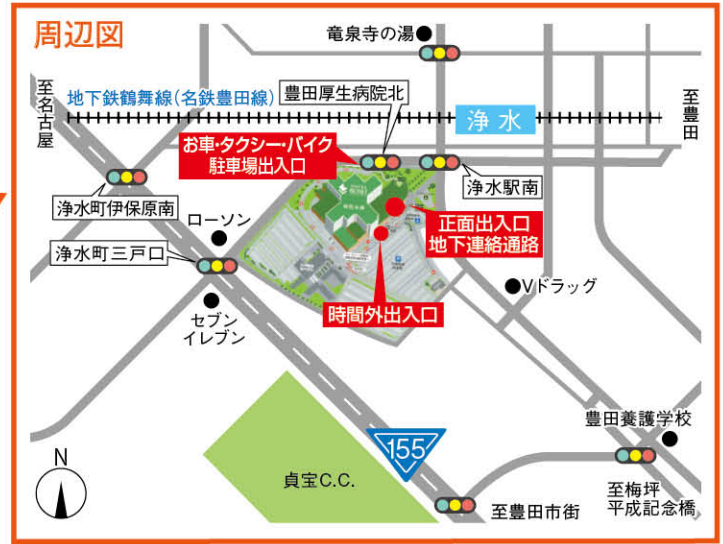
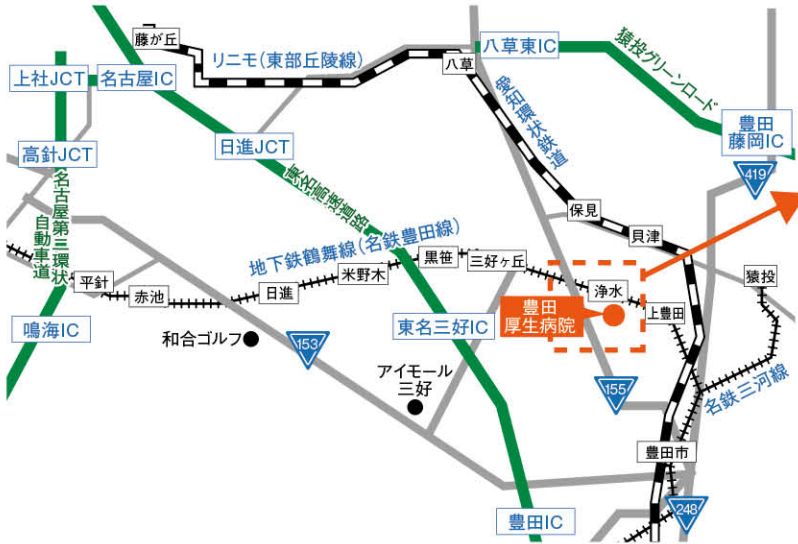
正面出入口・
地下連絡通路出入口

【平日】 7:30~17:30

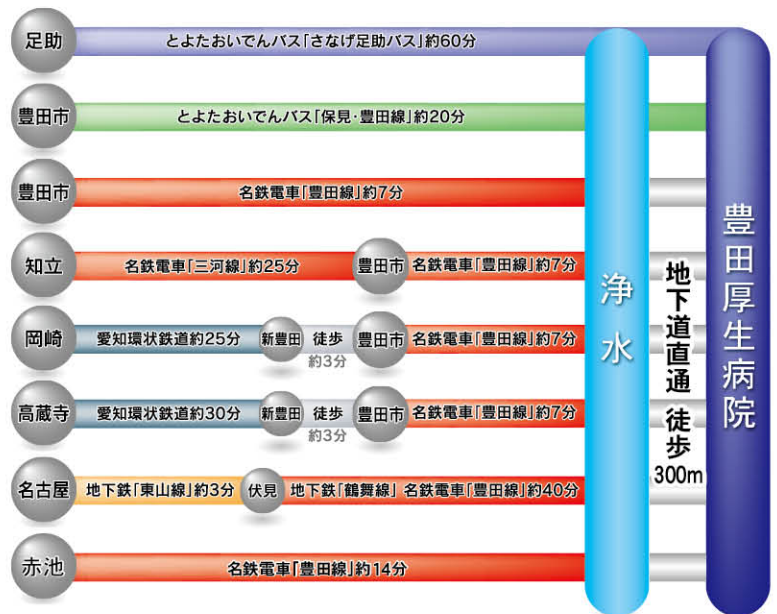
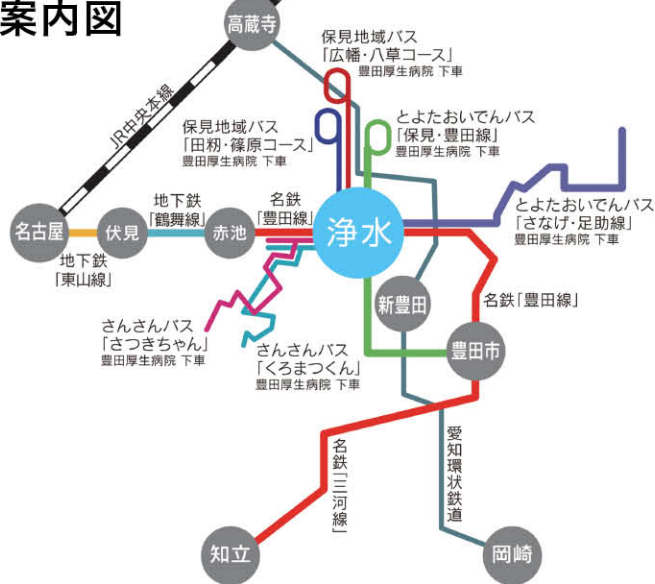
【第1・第3土曜日】 7:30~13:30

上記以外の時間帯ならびに休日や
救命救急センターへの受診の際は、
時間外出入口をご利用ください

アクセスマップ



電車・路線バス案内図



※駅、停留所、時刻表などについてのお問い合わせは、各社へお願いします



愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原 500-1
TEL (0565) 43-5000 (代表) FAX (0565) 43-5100
URL: <https://toyota.jaaikosei.or.jp>